



＝ いまの憲法が私たちの暮らしを護る ＝

危機に対応

犠牲を出さない 政治でなければ

安倍首相が小中高校の一律休校の要請を突然発表してから3週間を超えました。中国で新型コロナウイルスが発生し、日本にも広がり各自治体は懸命の対応を迫られました。そんな中、安倍首相の全国一律休校の要請がなされたのです。しかしこれは大きな混乱と困惑を生じました。あまりにも唐突だったため自治体、教育委員会、学校現場、保護者などは準備が全く整っていませんでした。さらに閣内でも統一されていなくて、文相も理解していません。いまでは登校する地区も増えてきましたが問題が残されています。あるTVの討論番組で自民党の平沢勝栄氏が「あらゆる犠牲を乗り越えて達成する事が必要」と主張していました。もしあらゆる犠牲をいとわないという考えが背後にあるのなら考

えてみる必要があります。確かに緊急事態と言うことを前提にすればもつとも思われ、るかも知れません。だが、私たちはこうも考えることができません。あらゆる犠牲の渦中に入ってしまうのが、仕事を待つ母親であり、障がいのある児童の育児をしている家庭や教師、自宅学習で働くことが不可能になる人たちです。結果として休めない、休めば生活が成り立たなくなる、職場にいらなくなるなど弱い立場の人たちです。ある例として、介護施設でパートで働くお母さんは、子どもを見るため平日に休み、土日は出勤してお父さんが替わるということで乗り切りました。でもシングルマザー、フアーザーはこれができません。無理して休めば仕事を失う場合も出てきます。政府のいう要請という名の強制に比べられる状況ではないのです。

一括りにした「あらゆる犠牲を乗り越えて」実行する政策とは、対応できない国民切り捨ての上に実行するものといえるでしょう。かつて戦時に「撃ちてしまん」という国民を犠牲にした国策がありました。根っこは同じと言えます。今必要なことは弱者が犠牲にならない政治の実現です。今回のような世界的な困難を前にした時こそドイツのメルケル首相の演説を引くまでもなく、説明を尽くし、広く国民に一定の理解を得る政治が求められます。この危機を乗り越えるためにも、気兼ねなく休むことが出来る条件の充実に政府に求めます。

今月の予定です。

● 5月に予定した講演会とピースパレードは中止となりました。

4月5日(日) 13:30 - 16:40
~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~
 南田梅郷公民館 南地域九条の会

4月8日(水) 13:30 - 15:30
~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~
 ジャスコ3階 市民活動会議室 第2 野田 九条の会

4月9日(木) 16:00 - 17:00
 コロナ対応をしよう実行します。
 名駅 16:00 - 17:00

4月10日(金) 13:30 - 16:00
 野田 九条の会 14月例会「緊急事態条項とは」
 中央公民館 講座室 野田 九条の会

4月11日(土) 13:30 - 16:00
 野田 九条の会 14月例会「緊急事態条項とは」
 中央公民館 講座室 野田 九条の会

4月12日(日) 13:30 - 15:30
~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~
 北口 野田 九条の会

4月13日(月) 13:30 - 16:00
~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~ ~~おしゃべりカフェ~~
 中央公民館 講座室 野田 九条の会

牲を乗り越えて」実行する政策とは、対応できない国民切り捨ての上に実行するものといえるでしょう。かつて戦時に「撃ちてしまん」という国民を犠牲にした国策がありました。根っこは同じと言えます。今必要なことは弱者が犠牲にならない政治の実現です。今回のような世界的な困難を前にした時こそドイツのメルケル首相の演説を引くまでもなく、説明を尽くし、広く国民に一定の理解を得る政治が求められます。この危機を乗り越えるためにも、気兼ねなく休むことが出来る条件の充実に政府に求めます。

学習会

「緊急事態条項」とは

- ~~4月30日(木) 13:30 - 16:00~~
- ~~中央公民館 講座室~~

新たに開設

ちょっと硬派な
おしゃべりカフェ

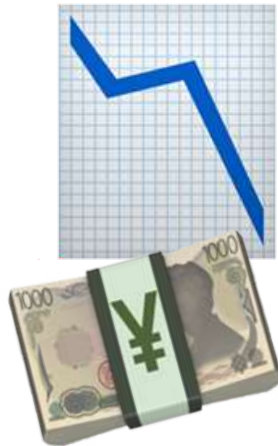
新たにジャスコ3階の市民活動室でも開設します。政治や憲法のこと気軽に「おしゃべり」しませんか。

自民党が改憲案として掲げる「緊急事態条項」は私たち個人の権利が制限されてしまうのではないかと心配です。今の世相に乗じて改憲を強行するのではないかなどと考えてしまいます。先行きが不透明な中、みんなで議論しましょう。弁護士さんのアドバイスもあります。

消費減税 いまだからこそ

昨年の10月消費税が8%から10%に増税となりました。このことは個人の収入が2%減ったということになるでしょう。賃金また時間給が増えないなか、生活が苦しくなったというのが多くの人々の実感です。国内の経済情勢を見れば、国民総生産（GDP）は年率換算-7.1%となり、職を求める人々に影響する有効求人倍率は低迷しています。消費税の増税以来ますます景気は落ち込み、年初からの新型コロナウイルス問題は世界的な同時不況をもたらし、株価の大暴落を招いています。収入を減らし働き口を奪われた大多数の国民は先々の生活をどのようにしたらいいか不安が募るばかりです。なんとか収入の確保をし、消費を抑えようと必死です。

そもそも消費税は社会保障や国の借金返済と説明されてきました。しかし実際は大企業の法人税を下げるためであったことは、過去30年余りの経緯から明らかになっています。政府から経済的な恩恵を受けてきた大企業の内部留保はなんと460兆円も蓄えられています。



一方家計はというと、GDPの約6割を占めるといわれる消費支出は前年を上回った月があったでしょうか。増税により実質収入が減っては消費に回せません。これで景気が良くなるはずもありません。いま緊急に必要なことは**収入を増やし、消費も増やす**経済対策ではなんでしょうか。こんな話も聞かれます。昨年の夏、切望

していた新築住宅を購入したある夫婦は「消費税アップとコロナ問題のダブルパンチによって収入が半分以上に減り、家のローンをどう返済してよかわからない」と嘆いているというのです。このような家庭の存在は日本中どこでもあることでしょう。政府には消費低迷と社会の動きを止めるウイルス問題の不安を、国民へ一時金をばら撒くことにより一気に解決しようとの動きがあるようですが、このような対策は一時しのぎでしかありません。「消費税はゼロに」と言いたいところですが、**恒久的な消費減税**を望んでいる大多数の国民がいることを政府、国会議員は肝に命ずべきです。

戸惑い 夢中で疲れた～ 😓

私は市内の学童保育所に勤務しています。今回、新型コロナウイルス対応の件では、初めての長期臨時休校に戸惑いました。突然安倍首相から3月2日から全国臨時休校を要請する発表がありました。

子どもを迎えに来た保護者から「学童はどうなるの」という質問で事態を知りました。

翌日から労働組合の仲間と勤務時間がどうなるのか、どんな方法が良いのかを考えました。結局市は午前1名、午後2名の体制に代替え指導員を配置、開所しました。障がい児のための加配指導員の代わりに学校からの応援も来ました。濃厚接触を避けるための休校でしたが、30名前後の登所した子ども達は狭い部屋でいつものように活発で、マスクもいつの間にか床の一つ二つと落ちている状態です。8時に出勤すると子ども達の顔色を見ながら体温を聴き取り、合間には掃除、消毒、子ど

もの対応、電話が鳴れば急いで受けるという感じでした。3月に予定していた「お別れ遠足」は中止となり子どもたちはがっかりしておりました。そんな中、学校の教員の方々が毎日健康観察で訪問してくれることを子ども達は『〇〇先生きたーっ。』と喜んでいました。修了式には短時間登校し、25日から春休みです。各学童保育所に50枚1箱のマスクが支給されました。アルコール消毒液は入手できなくなり代替品を希釈して消毒しました。3月の18日、19日が私と同僚の疲労はピークだったようで、つい駐車場への帰り道「疲れたー」と口にしてしまいました。目に見えないウイルスですから何が正しいのかは分かりませんが、学校を休校にして学童保育所で預かるということでもよかったのか……。とにかく、今後もまだ先が見えない新型コロナウイルスに感染する事態にならないよう、細心の注意を払って保育にあたりたいと思います。

Y子

